

試験結果報告書

No.220S-1039

令和2年6月8日

サルーテ・ラボ株式会社 殿



遠赤外線応用研究会

〒542-0081大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 供試のion “e” air (イオニアカードPLUS) を使用した場合の、空気中のPM2.5微小粒子状物質の除去性能を確認する。

試験試料 ion “e” air (イオニアカードPLUS)

試験条件 1) 試験日時 令和2年6月4日
2) 測定機器 DYDOS CORPORATION製 DC110プロB型

試験方法 60L (50cm×40cm×30cm) のボックス内に約60,000個/cc濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、空試験結果とする。次に、ion “e” air (イオニアカードPLUS) をボックス内の中心に配置し、上記濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、比較検証する。
なお、表示の数値としては初期濃度を100%として、PM2.5が減少していく割合を連続測定する。

試験結果

ion “e” air (イオニアカードPLUS) 使用によるPM2.5除去性能試験結果

| | 経過時間 | | | | 除去率 |
|---------------------------|------|------|------|------|------|
| | 初期濃度 | 10分後 | 30分後 | 60分後 | |
| ion “e” air (イオニアカードPLUS) | 100 | 54.7 | 7.1 | 1.8 | 98.2 |
| 空試験 | 100 | 91.6 | 84.7 | 77.2 | 22.8 |

(単位:%)

考察 供試のion “e” air (イオニアカードPLUS) を使用した場合、PM2.5の除去率は60分経過後で98.2%に達した。一方、空試験の場合は22.8%に止まった。
このことから、ion “e” air (イオニアカードPLUS) には、空気中のPM2.5を除去する性能があることが示唆された。
尚、本試験結果は一定の密閉空間での試験による結果であり、実使用空間での実証試験ではありません (カタログなどには明記して下さい)。

PM2.5除去試験グラフ

